
短編「あまのじゃく体質」

鳥海ドゥンガ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

短編「あまのじゃく体質」

【Nコード】

N1973F

【作者名】

鳥海ドウンガ

【あらすじ】

Ｔ郎は小さいときからあまのじゃくな性格で、いつも人とはちがったことをしていた！お母さんはそんなＴ郎の性格を少しでも直そうと努力したのだが、Ｔ郎が中学生になったとき、もう無理だと完全に諦める出来事が起きたのであった！

あるところに太郎という男の子がいました。

太郎は極度にあまのじゃくな性格で、小さいときから周りの流れや、言われたことの逆の行動ばかりしていました。

保育園ではお歌の時間に昼寝をし、昼寝の時間に歌を唄っていつも先生を困らせていました。さらに、雨の日には傘をささないで、晴れの日に傘をさしてやって来るなんてことも日常茶飯事でした。

太郎のお母さんは、このままの性格では大人になったときに困るだろうと思い、一生懸命、「みんなと同じことをしなくては行けない時はきちんと同じことをしなさい」というのですが、「やだ」の一点張りでした。

小学生になるとその性格は更にエスカレートしていきました。

国語の時間に算数の教科書を出し、算数の時間に国語の教科書を出します。

平日に学校へ行かずに日曜日に登校し、夏にセーター、冬にタンクトップを着て過ごしました。テストの点数も見事にあまのじゃくで、クラスの間が良いい点数の時には零点で、逆にみんなが悪い点数の時には百点を取っていました。

こんな太郎なのでもちろん友達ひとりもいません。

お母さんは本当に太郎の将来が心配になり、太郎をカウンセリングに連れて行きました。あまのじゃくな性格を改善するヒントが少しでも得られればと思ったのです。

しかし、カウンセリングの先生と話をする場所に連れて行かれた太郎は、最初から最後まで居眠りをしてまったく話をしませんでした。カウンセリングは何度行ってもそういう結果になってしまうので諦め、お母さんはとことん太郎と向き合って、毎日毎日、何度も何度も口をすっぱくして「言われたとおりのことをきちんとやりなさい。わ

ざと集団からはみ出すのはやめなさい」と言いました。

丁郎の答えはいつも決まっています。「やだ」です。

まったくあまのじゃくが直らないまま、丁郎は中学生になりました。お母さんは中学生になった丁郎にも根気よく話し続け、なんとかあまのじゃくな性格を直そうと精一杯の努力をしました。

そんなある日、お母さんの「この子の将来のためにも、どうにかしてあまのじゃくな性格を直したい」という考えを一気に吹き飛ばす出来事が起こりました。

同級生たちがみんな変声期を迎えて低い声になっていく中、丁郎だけは高い声に変わっていったのです。それも透き通るような美声です。

あまのじゃくもここまで筋金を通っていると「ああ、この子はこの子なんだ」と納得するしかありません。

その後、大人になった丁郎は世界でもまれな男性ソプラノ歌手として活躍したそうです。

お

しまい

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1973f/>

短編「あまのじゃく体質」

2010年10月11日01時42分発行